

医師・医療職等 負担軽減プラン（2025.4-2027.3）**【外来診療の適正化】**

- ・逆紹介の推進、外来縮小
- ・予約なしの初診患者は総合初診での対応（内科・外科・整形外科・脳神経外科）

【医師事務作業補助者の活用】

- ・電子カルテの代行入力
- ・サマリー（退院時要約）の代行入力
- ・診断書等の代行入力
- ・学会症例登録（NCD、CVIT、JND 等）
- ・各種書類のテンプレート化

【看護補助員の活用】

- ・看護師、助産師からの業務移管
- ・看護補助員の充実(外国人労働者の確保を含む)
- ・看護補助員を夜間勤務帯に配置

【事務職員の活用】

- ・専門業務経験者の採用
- ・障害者雇用促進による事務職員の補佐
- ・デジタル化推進に伴う業務軽減

【業務分担】

- ・特定行為研修修了者の看護師によるタスクシフト／シェア
- ・看護師による初診時の予診（救急外来におけるトリアージ含む）
- ・助産師外来
- ・検査技師による外来採血
- ・看護師、事務員による入院事前説明（入退院支援センター）
- ・薬剤師による入院患者の持参薬確認（同上）
- ・クリニカルパスの推進
- ・委託会社への業務移管（立哨当番など）や新規導入（CS セット）
- ・医療 DX の活用（AI 問診、外国語翻訳タブレット、スマートフォン）
- ・薬剤払い出しの運用変更に伴う残業時間削減
- ・インカム導入による作業効率化
- ・放射線技師によるタスクシフト/シェア（放射線造影検査時の造影剤投与、投与後の抜針、止血等）

【看護職員の負担軽減】

- ・妊娠、育児、介護中職員の夜勤配慮
- ・日勤部署より夜勤応援
- ・組織再編に伴う業務の専門分化
- ・電子カルテ入力業務の見直し

【処遇改善】

- ・非常勤職員の賃金見直し
- ・男性職員の育児休業の促進
- ・就業時間内の患者家族への説明
- ・医師の確保（内科医、救急医等）、短時間勤務者の採用